

令和5年度学校評価アンケート自由記述に対する回答

本荘高等学校

1 学校経営

○列車運休等の対応について

原則として、天候の悪化や交通機関の乱れ等によって休校になることはありません。今後も災害等の非常時を除いて休校になることはないとお考えください。また、JRが発表している運行状況はHP等でいつでも生徒が（タブレットPC等でも）確認できるものであり、生徒が入手できない情報が学校に届いた場合は適宜提供しています。

交通機関の乱れによって学校を休むことができる、という認識は改め、事前に運行状況を把握し、交通手段を可能な限り自分で確保することに取り組んでください。授業の実施が不可能だと判断されるような状態であれば、事前に緊急メール等で生徒・保護者に連絡しますが、それ以外の場合は個別の事情を除いて通常通り授業が行われるものとお考えください。なお、登下校の交通手段がないことにより学校を休む場合は出席停止の処理となります。

○P T Aの日程

御意見ありがとうございます。次年度の年間行事予定については、現在検討を進めておりますが、P T A総会につきましては4 / 2 6（金）に、学年P T Aは6 / 1 5（土）に開催する予定でおります。今年度の総会は、4 / 2 2（土）の開催でしたが、御指摘の通り、中学校の春季大会とのバッティングにより、全体の出席率が27.4%（前年度31.7%）に留まりました。次年度はこれまでの慣行を変えて平日にセットし、より多くの皆さま方の御来校をお待ちしたいと存じます。また、学年P T Aは、日程的に第1回考査終了日（6 / 1 4（金））の翌日しかとれず、上記のように土曜開催として実施したいと考えております。何とぞ御理解をいただき、御出席を賜りたいと思います。

○卒業式における駐車場

入学式と異なり卒業式は、降雪や除雪状況が読めないこと、例年330名以上の多くの保護者の皆様が出席していること等を鑑み、駐車場所の確保は極めて困難な状況です。また、グラウンド地面が激しく痛むことを避けるため、グラウンドを駐車場として使用することは控えております。卒業式は、本校の行事の中でも特に参加人数が多いことから、どうか御理解いただきますようお願いいたします。

2 教科指導

（割愛）

3 生徒指導

○学校全体の雰囲気が良く安心しております。きちんと挨拶ができる子どもたちが多いのも素晴らしいです。桜坂下の停車に関しては危険な場面が見られますので、子どもたちに

も周知していただきたいと思います。

お褒めのコメントを頂戴し、生徒はもちろん我々教員としてもとても励みになります。ありがとうございます。礼儀正しい挨拶や、進んで他者のために行動しようとするところなど、本校生徒には資質の高さが見られ、各家庭や地域の教育で育まれたものだと感じています。送迎時の桜坂下での駐停車については、生徒の安全や、同じ公道を利用する一般市民や地域住民の迷惑にならないことを考え、御家庭への一斉メールや文書を随時配付しております。文書配付の際は生徒にも説明をしており、他にも機会を捉えて注意喚起しております。

○朝桜坂を送迎車がたくさん上がってきているのに何もしていない。

本校生徒の安心安全な登下校のためにルールを設け、各家庭にお伝えしております。今年度も、一斉メールや文書配付、生徒への口頭指導など様々な手段で周知を図ってきましたが、ルールが守られていない現状があることは大変残念です。登下校をはじめ、生徒の安心安全な学校生活は学校側と保護者の方々の共通理解と協力のもとにもたらされるものであります。学校としては、各家庭にルールが周知されていないということがないように、今後も繰り返し周知を図って参ります。

なお、桜坂に係る送迎のルールはあくまでも本校独自の運用上のルールであり、強制力はありませんが、安全上等の観点から保護者の皆様の御理解と御協力が不可欠ですので、御家庭でも話題としていただければ幸いに存じます。

4 教育相談

(割愛)

5 進路指導

○理型の地歴の科目選択について

2年次理型の地理歴史の科目選択において、全員「地理探究」を選択するように指導しています。その理由は次の2点です。

①教員数の問題

公立学校の教員数は法律等によって定められております。それに応じて各学校で教育課程を編成し、一人当たりの授業の持ち時間が決まります。現在の教員数で授業を実施するためには、これ以上選択科目を増やすのは困難な状況です。

②科目の特性

地理の学習内容にはデータ処理や統計資料の考察が含まれること、求められる知識量が日本史や世界史に比較して少ないことなどから、理型の生徒には地理を選択の方がよいと総合的に判断しました。ただし、すべての生徒に当てはまるとは考えておりませんので、御指摘のような意見を否定するものではありません。

○もっといろいろな情報を生徒たちに教えてほしい。

進路情報等につきましては、生徒にはホームルームや学年集会、進路講演会、学年通信、進路通信等で、保護者の皆様にも学年通信や進路通信、PTA、Classi等で発信しております

す。また、担任のみならず、教科担任や学年主任、進路主任など、多くの機会で見聞や面談の機会を設けております。進路情報全体につきましては、毎年6～7月に発行しております、本校独自の進路の手引き「軌跡」を御覧ください。本校生徒の進路状況や、昨年度の入試結果、今年度の入試情報、最新の入試の仕組み、進学ガイド、就職ガイド、卒業生からのメッセージなど、すべてが本校独自に制作したものです。生徒のみならず保護者の皆様も是非隔々までお読みいただきたいと思っております。今後も引き続き、生徒及び保護者の皆様に対し、様々な情報を提供して参りたいと思っております。

○直近のOB、OGの進路に関する生の声をざっくばらんに聞ける機会がもっとあると参考になりそう。

コロナ禍で休止していたオープンキャンパスが全国各地で本格的に再開したことを受け、本校でも1泊2日の東北大学オープンキャンパスツアーを再開いたしました。本ツアーでは、2日間かけて東北大学主催のオープンキャンパスに参加するだけでなく、宿泊先に東北大学に在籍している卒業生を招き、大学での学びや学生生活に加えて、高校時代の様々な体験談やアドバイス等、後輩たちに向けて様々なメッセージを発信していただいております。東北大学に限らず、大学で学ぶことの意義について考える大変よい機会となりますので、是非御参加ください。また、例年3月に、合格した3年生を招いて「合格体験を聴く会」を実施しております。3年間の取り組みや、つい先日までの体験談を赤裸々に語ってくれます。今後も検討して参りますが、卒業生の学業等が最優先であり、その妨げにならないよう毎年計画しているものです。その点はどうぞ御理解ください。

○右文タイムの時間設定について

右文タイムの時間設定につきましては、現在、関係各所で協議しております。なお、右文タイムそのものは、時間内での小テスト等、本校の基礎学力の根幹を担うものとして大切なものであると考えております。その点はどうぞ御理解ください。

6 特別活動

○「昔のように、夜遅くまでの部活動がなくなって良い傾向と思います。先生方もどうぞ早くお帰りになられて十分に休息を取られてください。」「顧問の先生には大変お世話になりました。(中略)。先生の家族を大事にしてほしい、やって当たり前という習慣は無くしてほしいと思っています。」

御意見と御配慮、誠にありがとうございます。現在、部活動の練習時間は、平日は2時間30分程度、休日は3時間30分程度としています。また、休養日は週当たり1日以上設けるようにしております。定期考査初日の1週間前から終了までは原則禁止です(ただし、大会等が近い場合は個別に判断。)。勉学に励むとともに、部活動は短時間で質の高い練習をして、校標である右文尚武の実現を目指しております。

令和3年度における教員の「月当たりの時間外在校等時間」についてですが、全県の公立高校の平均値が39.1時間だったのに対し、本校の平均値は60.0時間でした。教員の働き方改革は、心身の健康及び教員の担い手不足等の観点からも、本県に限らず全国的に喫緊の課題であります。本校におきましても、教育の質は維持しつつ、生徒及び教員の心身の健康保持や負担軽減を図りながら教育活動を展開して参ります。

○文化祭はどの部活も関係なく、全員で参加できるようにしてもらいたいです。

玲瓏祭は、当日楽しむために、HRや担当部門で準備期間から生徒会が中心となり主体的な活動をしています。しかしながら、部活動等の大会と重なり参加出来ないというケースがあります。全県高校総体以降の部活動の大会日程は、各競技の専門部が決めており、すべての大会等と重ならないよう学校行事の日程を組むことはほぼ不可能な状況ですので、御理解いただきますようお願いいたします。

また、大会等と重なった場合は、担当部門で事前に役割分担をするなどの工夫により、全員が何らかの活動に携わることができるようにしています。生徒会や担当の皆さんが一生懸命活動することにより、「やってよかった。」という高校生活の思い出作りになります。今年度は、活動する時間が少ないという意見がありましたので、次年度は時間を多く取って活動できる場面を増やそうと検討しております。

7 学年経営・学級経営

○宿題、課題の出し方、量について（1年部）

長期休業中や定期考査に向けては、課題の範囲や提出期限等の一覧を早めに生徒に配付しております。平常時における宿題・課題の出し方や量については、教科の特性によっても異なるため一様に示すことは難しい面がありますが、宿題・課題に速やかに取り組もうとする際に支障がでないよう、できるだけ余裕をもってお知らせすることを心掛けてまいります。また、課題の形態については、プリントとペーパーレスの双方にメリット・デメリットがあることを踏まえ、各教科で適切な形での提示を心掛けておりますが、より適切な形で行えるよう継続して精査してまいります。

8 その他

○体育着を変えてほしい。

令和7年度以降、体育着のデザインの変更を予定しています（現在のデザインがメーカーで廃盤となるため）。併せて夏用半袖シャツについても色や素材、価格等、多方面の意見を参考にして検討を重ねたいと考えています。

また、体育着の学年カラーと名前の刺繍についてお答えします。兄弟等のお下がりの使用については了承しています。その場合、学年カラーや名前の刺繍が違っていても、特に問題はございません。例年、体育着紛失に関する事案が発生していますが、学年カラーや名前の刺繍がとても役立っています。紛失防止等の観点からも学年カラーや名前の刺繍は、今後も継続していきたいと考えています。

○校内の適切な環境対策、快適な学習環境の維持について

学校環境衛生基準において、教室の温度の基準は、17℃以上、28℃以下が望ましいとされています。毎日、授業前と日中に何回か技師が校内を巡視し、室温を確認して、適切な温度になるように心がけております。ただし、座席の位置や、感染症対策で定期的に教室の換気を行っていることから、基準内でも寒さや暑さを感じることもあるかもしれません。今後も適度な温度を保つように努めて参ります。